# 特定非営利活動法人 滋賀県社会就労事業振興センター

# 2018 年度　事業報告書

<2018 年度　総括>

1998 年 10 月 1 日、滋賀県社会就労事業振興センター（以下、「振興センター」という。）は設立されました。2018 年度は設立から 20 年という節目の年でした。

この設立当時と現在を比較すると、障害のある人の「雇用」「就労支援」の状況は大きく変化しました。ハローワークにおける障害のある人の就職件数は 4 倍となり、1998 年が 1.48%であった民間企業における障害者雇用率も 2018 年には 2.05%と数字を見る限り大きく前進したことになります。また、法定雇用率対象企業で働く障害のある人も約 25 万にから 2018 年には倍の 50 万人となっています。

障害福祉サービス事業所においては、1998 年当時、授産施設・無認可共同（働）作業所を合わせても 101 か所、利用者数約 1,800 名であったのが、2018 年では 207 か所（就労移行支援事業、就労継続支援事業 A 型・B 型）で約 3,600 名の方が働き（A 型）、利用しています。実績においても年間 10 名程度の就職者数が 2018 年には 120 名を超え、平均工賃においては 2000 年に 15,196 円が 2017 年度実績では 18,156 円となっています。

1998 年と 2018 年の数字を比較して、この 20 年間をどのように評価したらよいのでしょうか。また次の 10 年、20 年をどのように見据えて事業展開していくべきでしょうか。

2018 年度は法人設立から 20 年の節目に、新たな法人のあり方を模索した 1 年でありました。公益事業部においては、障害者自立支援協議会の研究事業として難病の方の「治療と仕事の両立支援」に関するモデル事業を実施、滋賀県農政課の事業として農福連携事業において好事例集を作成する等新たな事業を展開しました。また、圏域ごとで、障害者働き・暮らし応援センターやハローワーク、企業の皆様と一緒に、障害者雇用の促進を目的に研修や事業所見学会等を実施する「中小企業等障害者雇用促進事業」を 4 圏域で実施することができました。人員が少ない中で職員の弛まぬ努力と会員作業所の皆様はじめ多くの関係者の方々のご協力のもと、前進できた 1 年でありました。

法人の体制が大きく変わった 2 年目、就労支援事業部の大きな収入の減少により、経営環境はとても厳しい 1 年であり、職員の皆様には多大な負担を強いてしまったことは大きな反省であります。一方で、難局を乗り切ろうと知恵を出し合い、想いを出し合えた一年にもなりました。

そして、2019 年度、そしてこれからの 5 年、10 年…。当たり前すぎて、ノーマライゼーションという言葉が死語になる社会。障害のある人が当たり前に地域で働き、仕事帰りに飲みに行ったり、遊びに行ったり…その光景が当たり前すぎて誰も気にすらならない社会をつくりたい。これからもそのような社会を目指すために私たち振興センターがあると思っています。

障害がある人も、それを支える職員も、地域全体が「働いて幸せになる」社会、外部環境の変化とともに変わる時代のニーズに対していけるよう、会員事業所の皆様や関

係機関・団体の皆様と共に成長していきます。新たに始まる令和の時代、2019 年度もよろしくお願いいたします。

## 1，障害者の雇用・就労、職域の拡大に関する情報収集、調査・研究及び作業所等への情報提供に関する事業

### ① 作業所等への業務改善アドバイザーによる個別の経営改善支援

（県障害福祉課委託：障害福祉サービス事業所の仕事おこし支援事業）

☆ 観光や農業、環境等を切り口とした地域との協働による雇用の創出を目的にコンサルティングを派遣しました。

プロジェクト参加事業所における相談等支援項目・内容

| 事業所名 | 相談支援項目 | 相談支援内容 |
|---|---|---|
| ワークスさかた（ぱんげあ） | 店舗売上の向上 | クーポン企画の継続、企画会議の実施 |
| 滋賀アイステーション | 販路拡大 | 既存事業の見直し、専門家による助言 |
| しえんからさき | 新規事業の検討 | 企業・事業所の視察、情報収集 |
| しがなんれん作業所 | 売り上げの向上 | 地元企業とのマッチング |
| 工房和楽 | 既存製品の改良 | 専門家による助言・指導 |
| つばきはらファクトリー | 既存製品の改良 | 専門家による助言・指導 |
| 大地、アイリス、ドリーム・あんです | 事業見直し・整理 | 課題整理、情報収集 |

## 2，作業所等の受注・販路の拡大に関する営業活動や連絡調整に関する事業

### （1）共同受注窓口としての機能や障害者優先調達法に伴う企業・行政への営業

会員向け事業受委託 FAX 案内「Watch お仕事情報」の発送__19 件

受注総額・作業所へのあっせん総額＜担当：我孫子＞

- JRA 他　名刺等印刷物
- コープしが　活動報告書印刷　新一年生用プレゼント給食袋
- 膳所高校卒業式用コサージュ　他

### （2）事業ごとのプロジェクトによる作業所商品等の販路拡大

#### ① steed　使用済み調教用ゼッケンリサイクル PJ

2018 年度も、びわこみみの里（社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会）や若竹作業所（社会福祉法人　若竹会）を中心に事業展開を図りました。栗東市のふるさと納税や競馬関連雑誌の読者プレゼントに採用していただき販路も拡大しました。

＜リュック＞

＜MIMI＞

②ペットボトルキャップリサイクル会議

前年度に引き続き、いしづみの家（社会福祉法人いしづみ会）を中心に積極的な事業展開を図りました。

今年度は NEXCO 西日本（西日本高速道路株式会社）からのご注文のみならず、地元企業さんから大きなご注文を頂きました。

既存のお客様を大事にしながら、引き続き受注拡大を図って参ります。

・草津市内のＩ社からの受注額　７００,０００円

＜プランター設置風景＞

※Ｉ社が草津市内の小学校へ寄贈

③ エコラボはーとしが

例年通り圏域担当作業所より圏域内の企業・公共施設への配達をしていただきました。新規のお問合せが今年は 3 件あり、うち 1 件の申し込みは、単発の発注で、残りの 2 件は、「しが障害者施設応援企業認定制度」の活用からエコラボの活動にご注目をいただき、現在もご利用いただいております。データ化が進む中での売り上げ増がなかなか見込めないのですが、こういった制度の普及からエコラボの活動の周知ができました。

参加事業所：県内 4 事業所

| | | | |
|---|---|---|---|
| ・印刷工房ルーツ | （大津・湖南・湖西圏域） | 2,005 冊 | |
| ・サニーサイド | （甲賀圏域） | 480 冊 | |
| ・工房ふれっしゅ | （湖東・湖北圏域） | 1、225 冊 | |
| ・あゆみ作業所 | （東近江圏域） | 575 冊 | 合計　4,285 冊 |
| | | 2018 年度売上 | 1,827,981 円 |

④ DTP

県庁内職員生活協同組合にて県職員の方々の名刺印刷を承っています。

〈名刺販売実績〉

・2018 年度　　2,157,207 円（1,274 件）昨年対比 24%増

**⑤ 共同購入（シリカゲル、消毒剤等）**

シリカゲル（乾燥剤）の受注・発注の手配をいたしました。

シリカゲルの共同購入　16 件

## 3，障害者等への相談、就労支援、職業リハビリテーションの実施と普及、職場定着支援、起業活動等に関する事業

**（1） 介護等の場における知的障害者就労促進事業**　（県障害福祉課委託事業）

**（2）**

障害のある方に向けて

①研修の開催（旧３級ヘルパー相当）

カリキュラム：障害者居宅介護従業者基礎研修課程
重度訪問介護従業者養成研修基礎課程
いきいき生活支援員養成研修課程（滋賀県独自認定資格）

| | **１期：草津会場** | **２期：草津会場** |
|---|---|---|
| *研修期間* | ５月２８日～９月２６日 | ８月２１日～12 月２１日 |
| *受講者数* | ７名 | ６名 |
| *修了者数* | ７名 | ５名 |
| *就職者数* | ２名 | ０名 |

②修了生に向けた更新研修（スキルアップ研修）

知識・能力のさらなる向上や就労の継続を支援することを目的として、介護現場で働く障害のある人に対して実施する研修を、県独自資格の更新研修として実施しました。

今年度は口腔ケアの実技研修や、介護業務中に災害が起きた時の対処法を学ぶために京都市市民防災センターでの災害体験など、既存の研修カリキュラムでは補いきれない介護の知識を学ぶ場として更新研修を実施しました。

研 修 期 間：【１期】平成３０年１２月１７日、１２月２５日、
平成３１年１月１７日
【２期】平成３１年３月５日（生活援助の方法＋生活に必要な知識）、
３月 14 日

受 講 者 数：延べ３７名

介護事業所の方に向けて（介護事業所の環境整備支援）

介護事業所の職員に対して、障害特性の理解促進や、業務中における支援方法など、障害者雇用にかかる環境整備を目的とした出前講座を実施しました。

目　　的：介護事業所において障害特性等の理解を深めることを通じ、障害がある人が介護事業所での働きやすい環境、受け入れられやすい環境を作り、もって障害がある人の一層の就労促進を図ることを目的とします。

日　　時：　平成３１年２月１９日（火）13:30～16:30
場　　所：　滋賀県立長寿社会福祉センター
参加人数：　４４名
対　　象：　（一社）滋賀県介護福祉士会 会員および会員外の個人

テ ー マ：　「発達障害ってなんだろう？―自閉症スペクトラム障害を中心に―」
講　　師：　前野 篤史氏
（自閉症ｅサービス@京都・滋賀、NPO 法人滋賀県脊髄損傷者協会）

就労・雇用調整支援

有資格者の知的障害のある方と介護事業所の情報をデータベース化、両者間の雇用や実習にむけた調整機能である登録センターの設置に向けた準備を行いました。

全登録者　24 名　　実習調整件数　３件

**（２）障害者介護職員養成事業**　（県医療福祉推進課介護人材確保係 委託事業）

介護現場で働くことを希望する方のさらなるチャレンジの機会として、また今後ますます高齢化が進展する現代社会において「福祉の受け手から担い手」をさらにすすめ、障害のある方の介護現場での雇用創出を図るべく実施しました。

研 修 課 程：　介護職員初任者研修
開 講 期 間：　平成３０年９月２８日～平成３１年３月２０日
受 講 申 込 者：　６名
修 了 認 定 者：　６名（うち３名が介護事業所で実習を実施し、就職活動中。）

## （3）IT 総合活用推進事業　（県障害福祉課委託事業）

IT サロン運営、パソコンボランティア養成・派遣

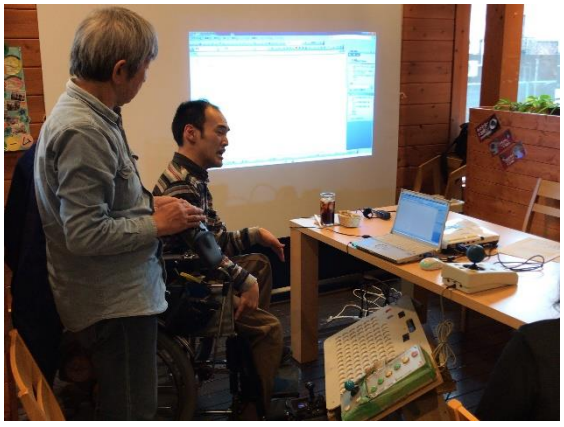
障害者の IT 利用にかかるバリアフリーと IT リテラシーの向上のため、IT サロンを県内７事業所、団体にご協力いただきながら運営しました。

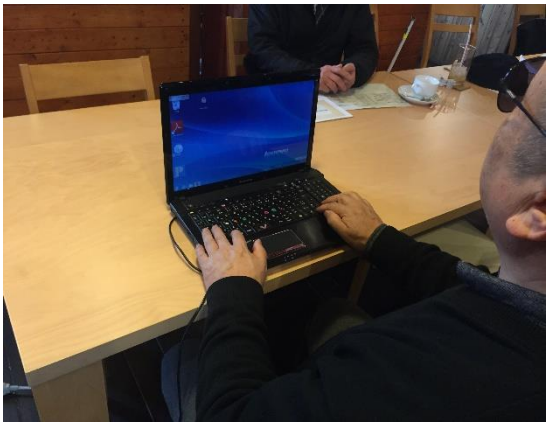
| # | 協力法人、団体名 | 実施場所 |
|---|---|---|
| 1 | 社福）大津におの浜障害者福祉協会、<br>パソボラ大津・かいつぶり | 大津市立障害者福祉センター |
| 2 | 甲賀地域生活支援センターあかつき | 甲賀地域生活支援センターあかつき |
| 3 | パソボラほろん | 滋賀県高島市今津町桜町２丁目 3-11 他 |
| 4 | パソコンボランティア能登川　和ねっと！ | 能登川障害福祉センター 水車野園他 |
| 5 | 社福）滋賀県障害児協会 | 湖北タウンホーム |
| 6 | 滋賀県聴覚障害者福祉協会 | 滋賀県立聴覚障害者センター他 |
| 7 | 滋賀県視覚障害者福祉協会 | 滋賀県立視覚障害者センター他 |
| 8 | NPO）滋賀県社会就労事業振興センター | 滋賀障害者雇用支援センター会議室 |

順不同

２０１８年度の IT サロンでは延べ人数で2,６００名が利用されました。IT サロン運営や在宅・施設訪問を含むパソコンボランティアの派遣では、活動人数が延べ１,２９９名となりました。

＜パソコンボランティア養成講座（湖北）の様子＞





IT 支援センター業務

障害がある方の IT 機器利用における相談を受け付ける IT 支援センター業務では、福祉用具センター・各圏域の健康福祉事務所からの問い合わせ対応を行いました。主に ALS 等の神経難病の方のコミュニケーション支援に関して、作業療法士やケアマネージャーと連携して機器の適合性の高い利用方法や、先駆的取り組みをしている企業・団体とのコーディネートを行いました。

また、コミュニケーション支援を必要とされている方に適切な支援がなされるよう、支援者向けに機器の実演や使い方の指導等を行いました。加えて、２０１８年度は滋賀県東近江保健所が主催、東近江介護サービス事業者協議会介護支援部会、東近江圏域介護支援専門員連絡協議会が共催の「進行性難病患者のコミュニケーション支援研修」に助言者と

して参加するとともに、第３回滋賀県多職種連携学会研究大会地域共生社会に向けた自立支援にて演題発表（コミュニケーション支援のために家族支援もあわせて行った事例の報告）を行いました。

**（４）ポテンシャル発見！障害者雇用推進事業**（県労働雇用政策課委託事業）

２２１社で延べ３７２名が職場体験・実習し、そのうち１３４名が利用後の就職に結びつきました。また、トライアル雇用等、他の障害者雇用施策に繋がるなどの実績を上げました。

**（５）生活困窮者自立支援法における就労準備支援ならびに中間的就労の場の立ち上げ支援**（県健康福祉政策課委託事業）

生活困窮者のなかには、知的障害や精神障害、発達障害等がある方も多くおられるのが実状です。これら障害のある人に加え、若年無業者、若年認知症の方等、働きづらさを抱えている方の中間的就労（認定就労訓練事業所）の場は順次整備はされてきているものの、活用件数が非常に少ないことが課題となっています。

今年度は各事業所へ認定就労訓練事業の認定制度について周知をするとともに、全県の担当者へ今後、検討するべき就労支援体制について提案を致しました。

＜平成３０年度　第２回生活困窮者自立支援担当者会議＞

**（６）中小企業等障害者雇用促進事業**（県労働雇用政策課委託事業）

＜背景＞

・2018 年４月の改正障害者雇用促進法の施行で障害者雇用率が 2.2%に引き上げ。
・少子高齢化や人口減少社会において、急速に進む労働力不足
・昨今の障害者雇用やコンプライアンスへの意識の高まり等。

＜事業＞

福祉圏域単位で事業主、支援機関、行政等が連携して地域の実情の応じた障害者雇用の普及啓発事業の開催。2018 年度は下記４圏域でモデル事業として実施。

＜湖西圏域＞

開催年月日：2018年8月28日（火）
開催内容：介護事業所等見学会
参加者数：28名（介護事業所3名、障害当事者12名、特別支援学校教員：3名、就労支援者：行政1名、大学生1名、就労支援者8名）
実施効果：参加当事者5名が介護事業所で実習。

＜大津＞
開催年月日：2018年11月1日（木）
開催内容：障害者雇用セミナー
参加者数：16社20名、関係者16名、計36名
実施効果：障害者雇用率未達成企業に対して、諸制度の紹介や関係機関との顔合わせができた。またハローワークとの共催による圏域内のネットワークが形成された。

＜湖東＞
開催年月日：2019年2月28日（木）
開催内容：講演・シンポジウム
参加者数：63名（企業数24社31名）
実施効果：企業における障害者雇用の具体的な取り組みを聞くことができた。

＜湖北＞
開催年月日：2019年3月5日（火）
開催内容：事業所見学ツアー
参加者数：24名（うち企業11社15名）
実施効果：障害のある人の雇用場面や訓練施設の見学で仕事の切り出し方や業務指示書の作成の工夫を学ぶことができた。

＜湖西　介護事業所見学会＞

＜湖北事業所見学会＞

**4，企業・障害者就労支援事業所等の関係機関のネットワークの構築に関する活動**

**（1） 滋賀県障害者自立支援協議会就労部会事務局**
**ならびにネットワーク部会就労分野**

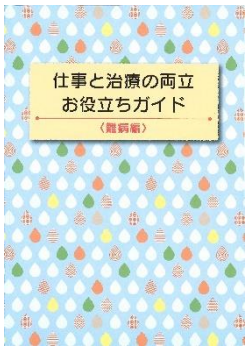
＜就労部会＞
2018 年度、就労部会においては難病の方の就労支援に取り組みました。難病の方に関しては、医療機関等から就労支援機関への連携が希薄で、入院や休職期間を経て職場復帰されるときに、配置転換や配慮が必要となる場合、会社とご本人が一対一で協議することも多く、少しの配慮等で働き続けることが可能であるにも関わらず離職に至るケースがあります。そうしたことから、医療と福祉の連携の在り方等を滋賀県においていかに確立するかを 2019 年度も引き続き検討していく予定です。
また、厚生労働省の「難病患者の仕事と治療両立支援モデル研究」とも協働・連携し進めていく予定です。

＜部会ならびに関連会議開催日時＞
日時：2018 年６月 15 日（金）14:00～16:00　於：滋賀医科大学
内容：厚生労働省「難病患者の仕事と治療両立支援モデル研究」打ち合わせ

日時：2018 年７月 12 日（木）14:00～15:30　於：滋賀県難病相談支援センター
内容：滋賀県障害者自立支援協議会就労部会開催に向けた打ち合わせ

日時：2018 年８月 30 日（木）14:00～15:30　於：滋賀県難病相談支援センター
内容：第１回滋賀県障害者自立支援協議会就労部会（各機関の難病ケースの概要把握）

日時：2019 年３月 22 日（金）15:00～17:00　於：滋賀県難病相談支援センター
内容：第２回滋賀県障害者自立支援協議会就労部会（事例検討等）




＜仕事と治療の両立お役立ちガイド＞

＜治療と仕事の両立支援＞

＜ネットワーク部会就労分野＞
　働き・暮らし応援センター代表者会議（滋賀県自立支援協議会　相談支援事業ネットワーク部会　就労分野）を６回実施しました。

＜第１回＞　日時：2018 年　４月 23 日（月）14:00～17:00　於：湖西
＜第２回＞　日時：2018 年　６月 25 日（月）14:00～17:00 於：東近江
＜第３回＞　日時：2018 年　８月 27 日（月）14:00～17:00 於：湖東
＜第４回＞　日時：2018 年 10 月 22 日（月）14:00～17:00 於：湖北
＜第５回＞　日時：2018 年 12 月 17 日（月）14:00～17:00 於：甲賀
＜第６回＞　日時：2019 年　２月 25 日（月）14:00～17:00 於：湖南

### （２）公益社団法人 全国重度障害者雇用事業所協会滋賀県支部の事務局

　障害者雇用事業所や特例子会社のネットワークを拡大し、そこでの経験やノウハウを会員企業で共有し、障害者雇用の拡大を図ります。

| | 開催日 | 会場 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 第１回定例会 | 2018/07/05 | 株式会社アヤハ環境開発 | ９社 13 名 |
| 近畿ブロック会議 | 2018/07/17 | 株式会社ドコモ・プラスハーティ | |
| 第２回定例会 | 2018/11/13 | 株式会社クレール | 16 社 23 名 |
| 近畿ブロック会議 | 2018/12/11 | 尼崎商工会議所 | |
| 第３定例会 | 2019/3/20 | カルビー・イートーク株式会社 | ９社 11 名 |

### （３）滋賀県中小企業家同友会ユニバーサル委員会

障害のある方を含めた「人を大切にする経営」の実践を共有し、障害のある方だけではなく誰もが働きやすい職場、地域づくりを目指し活動しました。

同友会会員企業と共同で職場見学・体験マップの構築を行い、広報活動として「ユニバサールニュース」を発刊しました。

いよいよ今年度 2019 年 10 月 17 日、18 日に開催する「第 20 回障害者問題全国交流会 in 滋賀」に向け、実行委員会に参画し、主体的によい会社、よい経営者、よい経営環境づくりに取り組んで参ります。

＜ユニバーサル委員会＞

＜ユニバーサル・ニュース７号＞

## （4）滋賀県就労移行支援事業所協議会 事務局

今年度、初めて定員数が減少に転じた県内の就労移行支援事業所の活性化を目標に、他分野との合同研修、県外事業所視察などを実施しました。

＜定例会・見学会の様子＞

## （5）滋賀県就労継続支援Ａ型事業所協議会 事務局

障害がある方と共に働き、就労を支え、誰もが「生きがい」や「やりがい」をもって安心して働き続けられる社会を創造することを目的に協議会活動を実施しました。また、会員交流・情報交換の場として事業所見学会を開催しました。

| 事業名称 | 開催日 | 会場 |
|---|---|---|
| 運営委員会 | 全２回 | 滋賀県社会就労事業振興センター |
| 情報発信／HP 更新 | 随時 | |
| 緊急シンポジウム<br>Ａ型の大量解雇問題を考える | 5/19 | 草津アミカホール |
| 研修事業 | 6/13.14 | ワークスみらい高知視察（高知県） |
| 研修事業 | 1/14.15.16 | 視察／札幌チャレンジド、自立生活センターさっぽろ<br>交流／札幌Ａ型事業所との情報交換（北海道） |

### （6）NPO 法人街かどケア滋賀ネットとの連携

認知症になっても、障害があっても地域で暮らし、働き続けることができる地域づくりの理念を共有し、介護現場での知的障害のある人の雇用創出を協働で展開するとともに、介護や保育園等での就労促進に向けた研修や情報交換会等を実施しました。

「いきいき生活支援員に多く見られる『ならではの働き』の見える化に関する研究事業」を継続して実施をいたしました。

＜街かどケア滋賀ネット企画運営会議＞

### （7）福祉の受け手から担い手へ推進会議

「介護人材不足は障がい者等雇用にとってチャンスと再認識」と考え、縦割りを排し官民一体分野横断の推進会議を組織し、ネットワークを拡大しながら障害者雇用を拡大するため平成 29 年度より実施してきました。2018 年度を最終年度とし、高島市においてフォーラムを開催しました。

日程：平成 30 年 11 月９日（金）１３：３０～１６：３０
会場：今津サンブリッジホテル
主催：福祉の受け手から担い手へ推進検討会

内容
第１部：基調講演
「障害者・高齢者を支援する」「共に生きる・働く」から「皆で生き抜く」ための実践へ
講師：長野敏宏氏（公益財団法人正光会　御荘診療所　所長　精神科医）

第２部　シンポジウム
“福祉の受け手から担い手へ”～障がいのある人が介護事業所で働くことを通じて～
コーディネーター：森本信吾（特別養護老人ホームヴィラ十二坊）
シンポジスト：西村武博（高島市介護サービス事業者協議会、株式会社 Be スマイル）
落川貴生（社会福祉法人光養会　特別養護老人ホームふじの里）
内藤佑介（社会福祉法人ゆたか会湖西地域働き・暮らし応援センター）
城　貴志（NPO 法人滋賀県社会就労事業振興センター）

＜基調報告：長野　敏宏氏＞

＜シンポジウム＞

**その他関係機関との連携**

ハローワーク、滋賀障害者職業センター、特別支援学校、地域若者サポートステーションをはじめ、様々な関係機関と情報交換・連携して就労支援を実施しました。

## 5，障害者雇用、職域の拡大、定着支援、受注の拡大等に関する研修の開催

### １，障害福祉サービス事業所の仕事おこし支援事業 関連研修

**職員人材育成研修**

今年度は「既存商品の改良」「法律改正への対応」「共同受注」「工賃向上と利用者さんの就職の両立」など、障害福祉サービス事業所を取り巻く諸課題に焦点を当てて相談会・研修を実施しました。

| | | |
|---|---|---|
| １ | 2018年8月23日（木） | 専門家による商品改善・改良相談会① |
| ２ | 2018年8月31日（金） | 専門家による商品改善・改良相談会② |
| ３ | 2018年9月27日（木） | 食品衛生管理研修 |
| ４ | 2018年11月14日（水） | 「会社で働きたい」「もっと工賃が欲しい」利用者さんの希望を両立するための実践論 |

＜研修の様子＞

専門家による商品改善・改良相談会①（8.23）

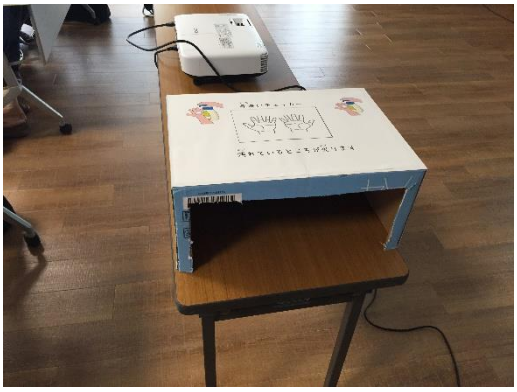
講師：伊那食品工業（株）小野氏、（有）図司穀粉　西尾氏

専門家による商品改善・改良相談会②（8.31）

講師：オフィスアイハット　目片氏

食品衛生管理研修（9．27）

講師：滋賀県健康医療福祉部生活衛生課　食の安全推進室　監査指導係　主管兼係長　佐谷氏



「会社で働きたい」「もっと工賃が欲しい」

利用者さんの希望を両立するための実践論（11.14）

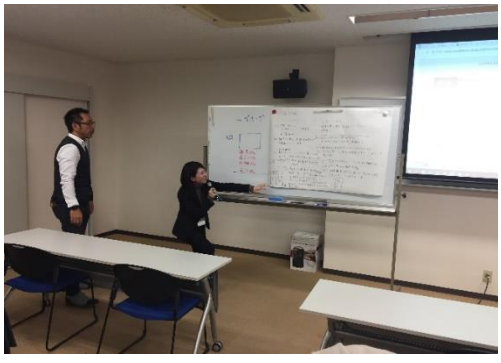
講師：ＮＰＯ法人地域活動支援センターぷろぼの　理事長 山内氏

**３，　就労移行支援促進事業(県障害福祉課委託事業・滋賀県就労移行支援事業所協議会)**

**企業への就労に向けたスキルやアセスメントの意義、手法**

（就労）アセスメントの重要性、やる気のアセスメントとアプローチ、その人が働く力を発揮する場はどこなのか（ジョブマッチング）等、初期アセスメントについての研修や企業への就労に向けたアセスメントについて、座学と実習を組み合わせた研修を実施しました。

＜講義・演習　聞いてみよう！「サービスを受ける」ってどんな気持ち？＞



## 6，障害者等を対象とする各種福祉施設の運営

・別紙「2019 年度経営指針書」参照

## 7，その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

（1）法人の経営指針書の学び。
→ 第７期の指針書作成に向け、職員全員の想いの共有を図るため、経営会議メンバー中心に経営指針書を作成しました。
（2）働きがいのある職場を目指して

① 経営会議・委員会活動
法人経営会議を 12 回開催しました。
また、研修親睦委員会と広報・情報管理委員会の２つの委員会を設置し、委員会メンバー主体でそれぞれ活動をしました。

② 職員会議
公益事業部の職員会議は計 13 回の職員会議を実施し、方針の確認等　行いました。また、就労支援事業部の各事業所や相談生活支援部のグループホームるまるまにおいては、各自職員会議を開催しております。

③　職員研修
職場適応援助者養成研修（ジョブコーチ養成研修）等職員の資格取得による資質の向上に努めました。また、e-ラーニングを活用し、いつでも、どこでも、ネットを通じて学べる機会を提供しています。
また、法人内の人事交流により、他事業所において学びあえる研修を実施しました。
年２回の法人全体研修において、８月には「新事業アイデア発表会」、２月には「人材育成」「支援の質」「新規事業」「働き方」の４つのカテゴリーに分かれて法人の将来像について議論しました。

④ 職員アンケートを実施
→　法人理念の浸透度合いや働きやすさ、給与等について職員アンケートを実施し、今後の法人経営について参考にしていきます。

⑤　懇親・親睦

法人ボーリング大会の開催や自転車でのビワイチ（琵琶湖一周）等職員の親睦を深める取り組みを研修・親睦委員会で企画しました。

＜ボーリング大会＞

＜ビワイチ企画＞

⑥ 有給所得率

目標　　%に対して 2018 年度は 57%でした。

（3）広報

Facebook ページでは各事業の進捗状況を定期的に投稿しました。

ホームページをリニューアル。「活躍する先輩」というリクルートページを作成しました。

＜ホームページ＞

2018 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日のアクセス数　5,177 件
*2 月以降は新サイトのため集計対象外

＜Facebook＞

年間投稿数：61 記事
ページ「いいね」件数：509

（4）その他

①理事会の開催

4 回の理事会を開催しました。

2018 年 5 月 23 日、5 月 29 日、11 月 26 日、2019 年 3 月 27 日

② 総会の開催

通常総会を 2018 年 5 月 29 日に開催をしました。

③ インターンシップ・実習の受け入れ

大学生にインターンシップを支援する「NPO 法人ドットジェイピー」より、大学生 2 名の実習を受け入れました。毎年受け入れている龍谷大学理工学部からの実習は希望者がなく、2018 年度は実施しておりません。

④ 会員増強（目標数１００を早期に達成します）

2019 年 3 月 31 日現在、会員数は 79 会員（4 増）